

北海道地域福祉学会 2021年度 全道研究大会

大会テーマ：コロナ禍における地域福祉～地域活動を担う住民への影響～

第1部：自由研究・実践活動発表

第2部：地域福祉優秀実践賞授式

光生舎ゆいま～る・もみじ台 様

※第1部、第2部は任意参加です

第3部：基調講演

コロナ禍における生活困窮の実相

- 松岡是伸 氏
(北星学園大学社会福祉学部准教授)

第4部：シンポジウム

コロナ禍で顕在化される困窮問題

- 経済的な困窮 ● 医療・ケアへのアクセスの困窮
- つながりの困窮 ● 生活物資の困窮
- 支援者が抱えるこころの困窮

2022年 1月22日(土) オンライン開催

詳細は右のQRコードからご確認ください

主催：北海道地域福祉学会 共催：日本地域福祉学会北海道部会

後援：社会福祉法人北海道社会福祉協議会、一般社団法人 Wellbe Design



当日のプログラム

- 10:00~12:00 第1部：自由研究・実践活動発表
詳細は1/8頃にWebサイトで発表します
- 13:00~13:35 第2部：地域福祉優秀実践賞授賞式
光生舎ゆいま〜る・もみじ台様
- 13:45~14:50 第3部：基調講演
講師：松岡 是伸氏
- 15:00~16:45 第4部：シンポジウム
話題提供者 ● 経済的な困窮：櫻井 耕平氏
● 生活用品の困窮：下川 美紀氏
● つながりの困窮：小笠原 志朗氏
● 医療・ケアへのアクセスの困窮：運上 昌洋氏
● 支援者が抱えるこころの困窮：坂本 大輔氏
コーディネーター：篠原 辰二氏
コメントーター：松岡 是伸氏
- 16:45~17:00 閉会

参加費および参加方法

会員：500円 非会員：1,000円 学生（院生除）：無料

※会員とは「北海道地域福祉学会員」または「北海道在住の日本地域福祉学会員」

- 参加希望者は、ウェブサイト (<http://hacd.jp>) の全道研究大会ページにある「お申し込みフォーム」をクリックし、1月17日(月)までに申込み専用サイト Peatix (外部イベントサイト) から「チケット」をお買い求めください。
- 参加費のお支払いには、カード決済またはコンビニ払いをご利用できます。ご請求書の発行が必要な場合はお問い合わせください。



開催要綱・お申し込みは左記のQRコードからご確認ください

基調講演

コロナ禍における生活困窮の実相

講師 松岡 是伸氏

(北星学園大学社会福祉学部准教授 / 本学会副会長)

コロナ禍において我々は、集う、語らう関係性が断ち切れ、福祉の担い手が主としてきた“出会う”支援は、感染というリスクに晒された。一方で地域関係も感染リスクから生じる恐怖・不安、さらには差別、偏見、スティグマにいたる場合もみられた。このようななかで個々人の生活困窮は深まっていったといえよう。そこで本講演では、コロナ禍による生活困窮を“個々人の生活”と、それを規定しうる“地域”という観点から実相に迫っていききたい。また必要とされる生活支援（生活保障）についても考えていきたい。



留意事項

- 必ずウェブサイトの開催要綱をご確認ください。
- 参加には Zoom ミーティングクライアントのインストールが必要です。事前にダウンロードをしてください。
- 開催日の3日前に、お申し込み時に登録したメールアドレスに参加方法をお知らせします。
- 通信上の問題により発生した音声及び画像の途絶があった場合においても、参加費の返金等はできかねます。

お問い合わせ 北海道地域福祉学会 事務局

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

一般社団法人 Wellbe Design 内

info@hacd.jp TEL 011-801-7450 FAX 11-801-7451